

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-6-3
空港・港湾の維持・整備

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

港湾空港課 土肥美実

電話番号

0852-22-5228

事務事業の名称	港湾維持管理事業	
目的	(1) 対象	港湾・海岸の施設利用者
	(2) 意図	港湾機能の安全性、利便性に配慮し、適切な港湾管理を行う
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の利用者に、適切に利用してもらうため、港湾施設の安全を確保する。 港湾施設の利用者に、港湾施設を利用してもらうため、許認可事務を適切に行う。 港湾施設の機能を良好な状態に保つため、保守点検や維持修繕を行う。 国際埠頭において、国際船舶・港湾保安法に基づく保安警備を適切に行う。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県管理港湾の年間取扱貨物量（単位：万トン）	目標値		660.0	660.0	660.0	660.0	万トン
	式・定義	年間取扱貨物量実績	取組目標値						
			実績値	644.1	681.1	707.3			
			達成率	-	103.2	107.2	-	-	%
2	指標名	港湾施設の維持管理計画策定率	目標値		97.3	98.2	99.1	100.0	%
	式・定義	施設の維持管理計画策定数／維持管理計画策定対象の全施設数	取組目標値						
			実績値	96.3	97.3	98.1			
			達成率	-	100.0	99.9	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	389,580	843,201
うち一般財源 (千円)	121,199	172,003

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 港湾施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中、計画的な修繕・更新が必要となっている。
- 県管理18港湾全てにおいて維持管理計画策定に取り組んでおり、港湾施設の計画策定は完了に近づいている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 港湾施設の許認可、維持管理を適切に行った。
- 港湾施設の機能を良好な状況に保つため、保守点検や維持修繕を行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 今後、港湾施設の維持修繕、更新経費の増加が見込まれる。

②困っている状況が発生している「原因」

- 耐用期間を迎える港湾施設の増加。

③原因を解消するための「課題」

- 計画的な港湾施設の維持修繕、更新を行い、施設の長寿命化を図ると共に、費用を平準化していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 今後、残されている防波堤、係留施設、臨港交通施設（橋梁、トンネル）の維持管理計画の策定を進め、残された施設の計画策定をH31年度までに終える。